

NICHOLS 1966™

この度はDANELECTRO製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。

1966年に発明された“The Liverpool Fuzz Tone”をオリジナルのPCBの写真と発明者であるSteve Ridinger氏が覚えていた部品の値から、復活させたペダルです。その構造は、他のペダルとは異なります。FUZZとDISTORTIONの中間に位置する、オリジナルでユニークな回路です。先駆者になったつもりで、長い間失われていたペダルを研究してみてください！

楽器をINジャックにOUTジャックからアンプへ1/4”モノラル標準フォンケーブルを使って接続します。

本製品にバッテリースロットはありません。

電源は、センターマイナス、DC 9V電源をご使用ください。

音造りのヒント

FUZZとDRIVEのコントロールは相互に作用します。未知の世界を探索するように時間をかけてあなただけのセッティングを見つけてください。

コントロール

FUZZ

ファズの量を調節します。時計回りに回すと多く、反時計回りに回すと少なくなります。本コントロールは武器のような働きをし、最大にすると、激しいノイズを伴って超攻撃的なサウンドを作ることができます。

DRIVE

ディストーションの量を調節します。時計回りに回すと多く、反時計回りに回すと少なくなります。“6”あたりから暴れるようなサウンドになります。

Tone

トーンを調節します。時計回りに回すとヴィンテージなサウンド、反時計回りに回すとモダンなサウンドになります。

Volume

出力の量をコントロールします。時計回りに回すと音量が大きくなり、反時計回りに回すと小さくなります。9時方向から始めて調節してみてください。

Stock/Mid Cut

左側はSTOCKで、オリジナルペダルの純正トーンが得られます。Mid Cutは本機から追加された機能で、まだ誰も体験したことのないサウンドです。

Effect Foot Switch

オン/オフを切り替えます。

Input and Output

1/4”モノラル標準フォンケーブルを使用してください。Inputジャックにプラグが刺さっている状態でのみONが可能になります。

DC jack

9Vセンターマイナス 9mA以上の外部電源をDCジャックに接続します。

SUGGESTED SOUND SETTINGS

